

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011. 11. 21

No. 63



就職未決定者13名

今年は昨年に比べ 20 人余就職希望者が増え、しかも東日本大震災の影響や、ギリシャ危機をはじめとした世界的不況による厳しい就職戦線の中で、一時期はどうなるものかと心配していました。この時期の就職未決定者が昨年は 20 人以上いたものが今年は当初予想より大幅に少人数となりました。今年は 10 月以降 1 社で結構多人数の求人をしてくれたところが何社もあり、大分助けられました。

現在未決定者のうち 8 人位は、応募書類を出し試験待ちもしくは結果待ちとなっています。近いうちには 10 人を割るのではと期待しています。係としても卒業までには何とか全員の進路が決まるよう祈っています。

合格した感激を忘れずに

待ちに待って合格が伝えられたとき、飛び上がって喜んでいる生徒が何人かいました。そんな姿を見ると私もほっとしました。しかし、来春それぞれの企業に入ると、当初の期待と現実のギャップにさらされいつしか合格したときの喜びを忘れ、不満ばかりが口に出てしまうなどということも起きがちです。

どんな仕事についても自分の思う通りにいかないことが少なくありません。しかし現実には厳しさだけがあるわけではありません。**当初は大変だと思っても慣れてくるとその中に楽しさも見いだすでしょう。**案外気の持ち方如何でどうにでも変わりうるものです。

社会に出れば、今までのような甘えた学生生活とは異なり現実の厳しさを強く感ずるでしょうが、今までのような学生生活を永遠に続けることが出来ない以上、遅かれ早かれそうした生活に慣れていかななくてはなりません。皆さんが不満に思う会社の中でも多くの方が働いているのです。その割り切りが出来れば不満ばかりを口にするのではなく、**現実の中でいかに自分の喜びを見い出すかに思いを寄せた方がよい**でしょう。多くの方は日々の仕事の中で生活のためと割り切って嫌々ながら仕事をやっている分けではないはずです。自分の携わっている仕事を通じて、それぞれに自分なりのやりがいを見出していると思います。

最初は訳がわからないでしょうが、我慢してやっているうちに次第に仕事の面白さややりがいが見いだせるものだと思います。今回苦労してそれぞれ就職試験に合格しましたが、合格したときの感動を忘れずに、出来るだけ続けるよう頑張ってください。



人ができない仕事を
しようと心に決めている。

…

人ができない仕事は
難しいから失敗もする…が、
その失敗が必ず生きてくる。
（「俺が、つくる！」岡野雅行）

先日車を運転しながらラジオを聞いていた際、ある人が「人生でどちらを選んだらよいか迷ったとき、僕は難しい方を選択することになっている」と話していました。

とにかく人間は楽な方ばかりを選びがちですが、それでは進歩と面白みがないということでしょう。左の文は、従業員数人で、これまで誰も出来なかった携帯電話の電池パッケージや痛くない注射針等を開発し日本中から注目された岡野工業の社長の言葉です。